

子どもの発達に 寄り添う こども発達相談室

子どもの発達や、障害がある子どもの生活に不安を感じた時には、気軽に相談してください。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

子育てをする中で、子どもの発達について悩んでいませんか。帯広市には、18歳までの子どもの発達や障害のある子どもの生活に関する相談窓口として「こども発達相談室」があります。平成24年度に開設してから5年が経過し、昨年度は延べ300人以上の人から相談が寄せられました。

困り事などさまざまです。こども発達相談室では、現在の子ども状況や、これまでの子育ての状況を聞き、困り事がどういう時に起こるのかなど、一緒に考えていきます。

一緒に考え、行動する

もちろん、相談したからといって問題がすぐに解決しない事もあります。しかし、悩みを人に話すことで、課題の整理ができた、気が付かなかった子どもの成長している部分や、得意なところを再

さまざまな悩みに 対応



相談内容は、発達に関する心配事や、保育所などの集団生活での

例えばこんな相談ができます

- 発達の支援をしてくれる場所の利用方法を知りたい
- 落ち着きがない
- 発達の気になる場所を相談したい
- 言葉がゆっくり
- サポートしてくれる福祉制度を知りたい
- 障害の診断を受けたが、これからのことを相談したい

発見できて、前向きな子育ての手助けにつながる場合もあります。また、必要に応じて保護者の了承の上、保育所や幼稚園、学校などの関係機関と情報を共有して、子どもに合わせた対応法などを一緒に考えます。

まずは気軽に 電話して



子どもの発達について気になることがあったら、気軽にこども発達相談室に電話してください。

一人ひとりの悩みに応じて、臨床心理士、心理相談員、理学療法士、保育士が対応します。

面談での相談にも応じることができると、事前に電話連絡してください。



面談にも応じます

こども発達相談室

- ◆対象 / 18歳までの子どもの保護者
- ◆受付日時 / 月～金曜日（祝日、年末年始除く）、8時45分～17時30分
- ◆場所 / 保健福祉センター（東8南13）

☎25・9700

市民の皆さんの まちづくりの実感

市民まちづくりアンケート結果

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

市では、市民の皆さんが帯広市の住みごこちや、まちづくりにつながるような実感を持っているかを調査するため、毎年度「市民まちづくりアンケート」を実施しています。

今年度は無作為に抽出した20歳以上の市民4500人のうち、2308人（回収率51・3パーセント）から回答がありました。

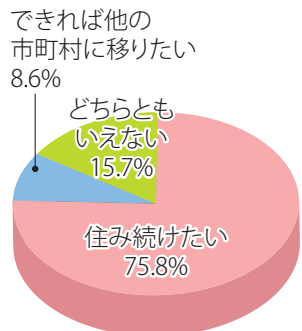
「住みごこち」「定住意識」は今年も高水準
帯広市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人を合わせると、83パーセントでした。（表1）
また、今後も帯広市に「住み続けたい」と回答した人の割合は75・8パーセントで、いずれも高い水準となっています。（表2）

今後のまちづくりに活用

集計した実感度と、アンケートの自由記載欄でいただいたご意見は、今後のまちづくりの参考としていきます。

アンケートの詳細な集計結果は、市庁舎や各コミセン、川西・大正支所でご覧いただけるほか、市ホームページにも掲載しています。

表2 定住意識について



※割合は、小数点以下第2位で四捨五入し、端数整理はしていない

表1 住みごこちについて

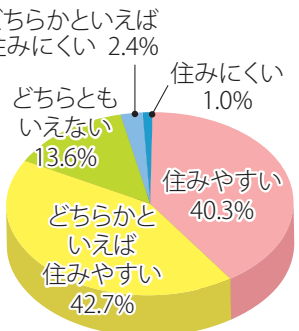


表3 実感度について

順位	実感度が高い項目（上位3つ）
1	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	消火活動や救急活動が迅速に行われている
順位	実感度が低い項目（下位3つ）
48	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
49	商店や商店街に活気がある
50	中心市街地に魅力とにぎわいがある

帯広市 市民まちづくりアンケート [検索](#)